

平成17年11月度 販売電力量

1. 概況

11月度の販売電力量は61億97百万kWhとなり、前年に対し+4.8%と3か月連続で前年を上回った。

(1) 一般需要(販売電力量合計から大口電力を除いたもの)

10月前半の気温が前年に比べ高めに推移したことによる冷房需要の増加などから、前年に対し+4.7%と3か月連続で前年を上回った。

平均気温(九州7県平均) ()

	10月				11月			
	上旬	中旬	下旬	平均	上旬	中旬	下旬	平均
実績	24.0	21.8	16.8	20.7	17.4	13.8	11.9	14.4
前年差	2.5	2.4	0.8	1.3	0.1	1.4	0.8	0.7
平年差	3.3	2.7	0.3	1.8	1.7	0.1	0.5	0.8

(2) 大口電力需要

鉄鋼の減少はあったものの、化学や電気機械などが増加したことから、前年に対し+5.2%と23か月連続で前年を上回った。

2. 用途別実績

(千kWh, %)

		実績	前年比	年度累計 前年比	
特定規模 需要以外 の需要	電灯	1,947,797	102.5	101.2	
	電力	低圧	319,330	103.3	99.8
		その他	73,884	92.5	98.0
	電灯・電力計		2,341,011	102.3	100.8
特定規模 需要	業務用	1,447,711	109.6	104.3	
	産業用	2,408,660	104.6	102.9	
	特定規模需要計	3,856,371	106.4	103.5	
販売電力量合計		6,197,382	104.8	102.4	
(再掲)	一般需要	4,372,209	104.7	101.9	
	大口電力	1,825,173	105.2	103.6	

(注): 産業用電力には、その他電力を含む

3. 大口電力産業別実績

(千kWh, %)

		実績	前年比	年度累計 前年比
機 械	電気	465,683	104.5	102.8
	輸送用	94,035	108.2	105.0
	その他	38,840	111.3	110.0
	計	598,558	105.5	103.5
	鉄鋼	205,507	95.5	98.0
化学	193,766	112.2	107.8	
窯業土石	107,922	110.1	108.4	
(セメント)	70,760	108.7	109.6	
食料品	136,159	106.6	103.7	
パルプ・紙	39,596	127.1	104.4	
非鉄金属	65,969	98.1	107.4	
その他	477,696	104.9	103.4	
合計	1,825,173	105.2	103.6	

(参考) 電力各社別販売電力量(17年11月)

(百万kWh, %)

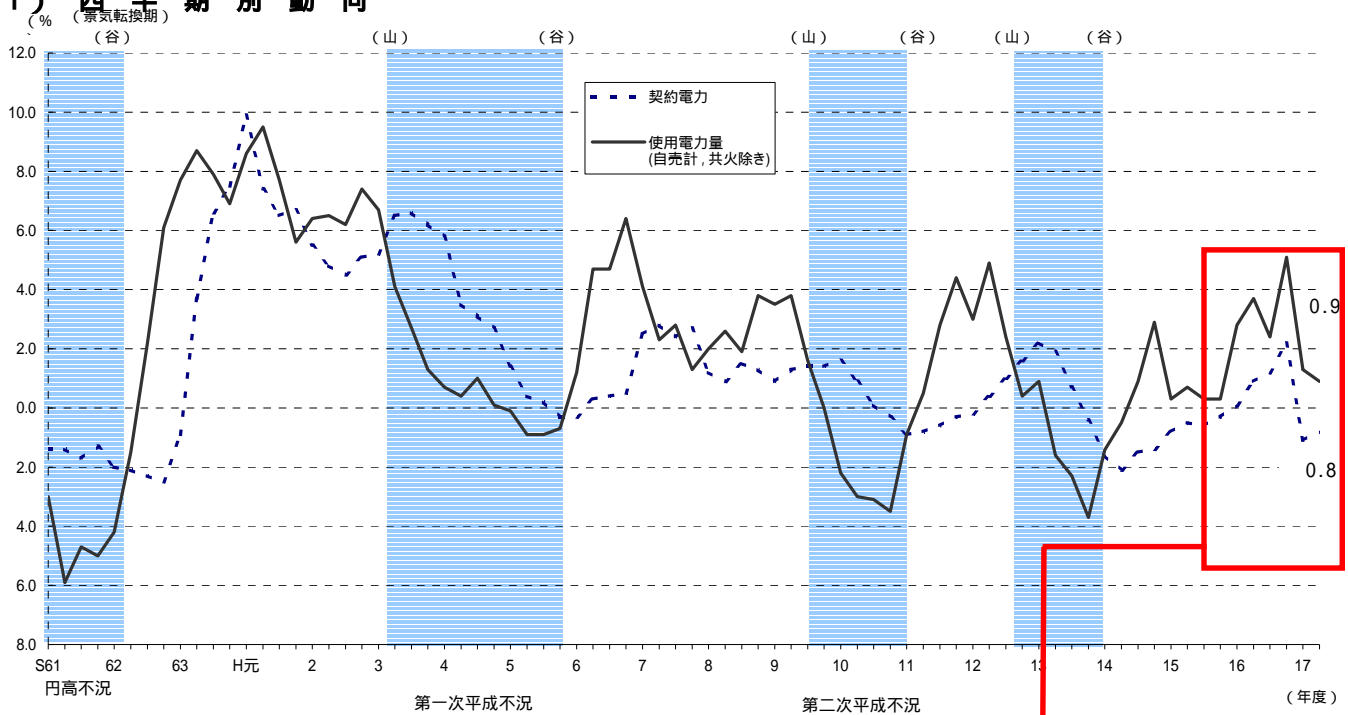
		北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州	合計	
実 績	特定規模 需要以外 の需要	電灯	925	1,828	6,805	2,445	558	3,330	1,314	673	1,948	19,826
		電力	126	292	832	482	107	443	200	143	393	3,018
		電灯・電力計	1,051	2,120	7,637	2,927	665	3,773	1,514	816	2,341	22,844
	特定規模 需要	業務用	640	1,207	5,655	1,658	373	2,559	826	428	1,448	14,794
		産業用	741	2,893	8,575	5,384	1,134	4,492	2,226	851	2,408	28,704
		特定規模需要計	1,381	4,100	14,229	7,042	1,507	7,051	3,052	1,279	3,856	43,497
販売電力合計		2,432	6,220	21,866	9,969	2,172	10,824	4,566	2,095	6,197	66,341	
(再掲) 大口電力		451	2,158	6,902	4,217	895	3,539	1,815	657	1,825	22,459	
前 年 比	特定規模 需要以外 の需要	電灯	98.8	101.3	99.8	101.9	104.2	103.4	103.3	104.8	102.5	101.5
		電力	99.9	99.6	98.2	97.4	98.8	92.0	96.2	100.6	101.1	97.7
		電灯・電力計	98.9	101.1	99.6	101.1	103.3	101.9	102.3	104.1	102.3	101.0
	特定規模 需要	業務用	103.3	104.3	101.1	104.9	107.7	103.3	107.7	105.1	109.6	103.7
		産業用	98.7	105.7	100.2	104.1	103.7	100.5	100.5	104.4	104.6	102.1
		特定規模需要計	100.8	105.3	100.5	104.3	104.7	101.5	102.4	104.6	106.4	102.6
販売電力合計		100.0	103.8	100.2	103.3	104.2	101.7	102.3	104.4	104.8	102.1	
(再掲) 大口電力		98.0	107.1	99.8	104.9	105.0	100.2	100.4	106.2	105.2	102.3	

(注) 1. 電気事業連合会統計委員会の資料による。当社以外は速報値。 2. 個々の数値と合計欄の数値は、四捨五入の関係で一致しない場合がある。

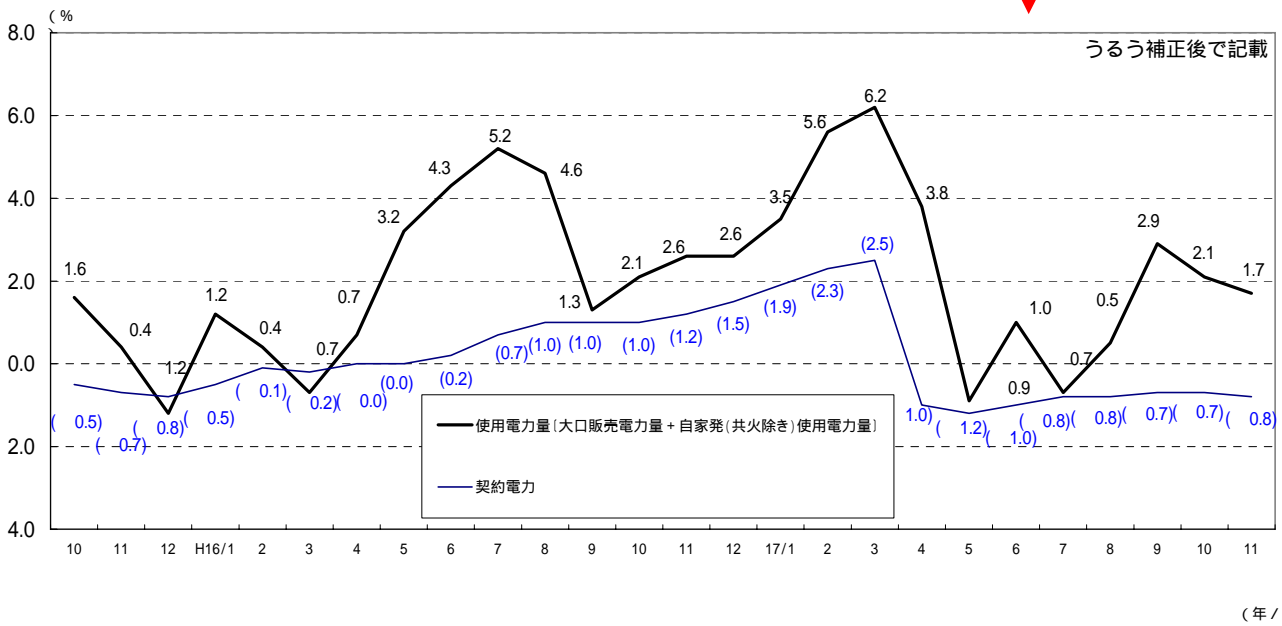
以上

大口電力の契約電力と使用電力量の推移（大口カーブ）

(1) 四半期別動向



(2) 月別動向



大口カーブは景気判断の物差しのひとつ

「使用電力量」は、契約電力500kW以上の産業用大口電力の販売電力量と、工場が独自に持っている自家発自家消費電力量を加えたもので、生産活動の活発さを反映している。

「契約電力」は、工場などの生産能力と、設備投資の動向を反映している。

経験則では、「使用電力量」の伸びが「契約電力」の伸びを上回るときは好況、逆の場合は不況である。2つのグラフが交差するときが、景気の転換点にほぼ一致している。

17年11月度は、使用電力量の伸びが契約電力の伸びを、20か月連続で上回った。

